

## 金沢工業大学教育改革資料

- 1
- 2
- 3 ●平成18年度特色ある大学教育支援プログラム（＝特色GP）
- 4 テーマ「学ぶ意欲を引き出すための教育実践」
- 5 1) 教育目標
- 6 「学生の学ぶ意欲」を引き出すこと
- 7 学習スタイルの確立と修学計画の立案
- 8 技術者としての自覚と社会的責任
- 9
- 10 2) カリキュラム
- 11 「修学基礎」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（各1単位）
- 12 1週間単位の行動履歴のレポート作成など修学ポートフォリオ作成を通じてプレゼン能力を高める
- 13 「進路ガイド基礎」Ⅰ（1単位）
- 14 キャリアデザインをキャリアポートフォリオにまとめさせる
- 15 「技術者入門」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（各1単位）
- 16 技術者の社会的責任、技術者マインドの養成のための科目。週間レポート作成。
- 17 「人間と自然」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（各1単位）
- 18 穴水湾自然学苑での2泊3日研修
- 19
- 20 3) 取組の実績・有効性評価
- 21 学生アンケートによる以下の評価
- 22 「修学基礎ⅠⅡⅢ」（平成17年度）
- 23 「自己管理に有益」87%
- 24 「自学学習が身に付いた」86%
- 25 「挨拶ができる」97%
- 26 「ルールが遵守できる」96%
- 27 「協調できる」95%
- 28 「アドバイザーとのコミュニケーションができる」78%
- 29 「技術者入門」（平成17年度）
- 30 社会動向への関心 57%→82%
- 31 技術者の仕事の内容 20%→69%
- 32 技術者になる意味 15%→57%
- 33 技術者の社会的責任 47%→86%
- 34 4) 今後の実施計画
- 35 「達成度ポートフォリオ」（WEBによる「レポート提出システム」）
- 36 「修学ポートフォリオ」
- 37 「キャリアポートフォリオ」
- 38 「自己評価ポートフォリオ」

- 39 ●平成16年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業（キャリアアップのためのプロジェクトマネ  
40 ジャー教育プログラム開発） 吉田学園（吉田学園ビジネス公務員専門学校） 17年3月発行  
41  
42 テーマ：プロジェクトマネジメントの現状と新しい教育の方向性—プロジェクトマネジメント教育とプロ  
43 ジェクト型教育—（PMプロジェクト 調査報告書）  
44  
45 1）夢考房の参加人数  
46 1991年からの16プロジェクトでのべ273名  
47 ープロジェクト3名から49名（平均17名）  
48  
49 2）進捗管理の問題  
50 進捗管理できていない（52頁）  
51 課外活動であるために分業上のすりあわせができていない（61頁）  
52 1人でグループの課題を仕上げたということが頻繁に発生（74頁）  
53 関連する担当とのすりあわせができていない（54頁）  
54 最終成果に大きな差が出てくる（60頁）  
55 3）参加人数の実体  
56 夢考房参加者は全学生の「わずか4.2%」（60頁）  
57 名簿上46名の参加者があっても積極的に活動しているのは20名前後（2004年ソーラーカープロ  
58 ジェクトの場合）。  
59  
60  
61 ●カレッジマネジメント 2007年7-8月号（リクルート）  
62 「学生から高い評価を得る修学ポートフォリオとは」藤本元啓（金沢工業大学 学生部長・修学基礎教育  
63 主任）  
64 1）金沢工業大学の「初年次教育」  
65 学習スキル（レポート作成、プレゼンテーション、コンピュータリテラシ）  
66 補習教育  
67 専門教育の基礎的知識  
68 社会常識  
69 2）WEB上での学習管理  
70 修学ポートフォリオ  
71 行動目標の達成自己評価（学期により5～6項目）  
72 達成度（0%～100%）とその理由のレポート（各100字）  
73 全履修科目の修学状況  
74 成績、課題提出、出席などの反省と改善方法（300字）  
75 日常生活の状況全般  
76 課外活動、アルバイト、病気、けがなど（300字）

- 77 3) 達成度評価ポートフォリオ（KITポートフォリオシステム）  
78 学生のPDCAサイクルを回す支援システム（KIT自己成長型教育プログラム）  
79 修学ポートフォリオ  
80 キャリアポートフォリオ  
81 工学設計ポートフォリオ  
82 自己達成ポートフォリオ  
83  
84 4) まとめ  
85 「たとえ、いかに優れた教育改革プラン、・教育プログラムを開発したとしても、大学組織の全構成員がそ  
86 の意味と意義とを理解し、かち徹底した実践が伴わなければ、それは改革のための改革に終わってしまう」  
87 （17頁）  
88  
89  
90 ●ポートフォリオ項目  
91 ◎毎日書くもの（カレンダー形式）  
92 1. 欠席・遅刻科目・理由  
93 2. 予習・復習・課題・所要時間（分）  
94 3. 部活動・利用施設・アルバイトなどの内容・時間帯  
95  
96 ◎一週間毎に書くもの  
97 1. この1週間で特に努力した点、反省すべき点とその対策、日常生活において困った点など  
98  
99 ◎学期ごとに書くもの  
100 1. 「修学基礎I」の「学生の行動目標」の達成度について（達成できなかった原因と改善方法） 参照  
101 2. 1期の全科目の修学状況についての反省と改善方法（成績・課題提出・出席など）  
102 3. 1期の生活状況全般についての反省と改善方法（課外活動・アルバイト・病気・怪我など）  
103  
104 ◎その他  
105 キャリアデザインシート（変更があれば更新していく）  
106 ・自分史  
107 1) どんな科目が好きでしたか？ それはどうしてだったでしょう？  
108 2) 一番力を入れたこと、夢中になったことは何ですか？  
109 3) クラブ活動や友人との交流についての思い出は？  
110 4) 感動した出来事や、本、映画、イベントなどはありませんか？  
111 5) 将来、何になりたいと思っていましたか？夢は何でしたか？  
112 6) 自分の長所はどんな点にあると思いますか？ 具体的なエピソードを添えて記入してください。  
113 7) 自分の短所はどんな点にあると思いますか？ 具体的なエピソードを添えて記入してください。  
114 8) 趣味や特技は何ですか？

- 115 9) 第三者（保護者、先輩、友人）は、あなたの長所、短所についてどのように話していますか？
- 116 10) KIT（金沢工業大学）に進学した目的は何ですか？
- 117 11) この学科を選んだ理由は何ですか？
- 118
- 119 卒業後
- 120 1) 理想としている人は誰ですか？ その理由は何ですか？ その人に近づくには何を努力する必要がありますか？
- 121
- 122 2) 10年後どんな生活をしていたいと思いますか？ そのためにはどんな努力が必要ですか？好きな言葉
- 123 葉をあげてください。 その言葉にしたがって、あなたが過去に行動した事柄を具体的にあげてくだ
- 124 さい。
- 125 3) 保護者の方が働いている様子をどんな風に感じていますか？ それはどんなときに感じますか？）働
- 126 く目的とは、どんなものだと思いますか？（箇条書きでできるだけ沢山あげてください） あなたが
- 127 該当するのはその内のどれですか？
- 128 4) どんな職種・仕事に就こうとしていますか？ なぜ、その職種・仕事を選びましたか？
- 129
- 130 ・在学中
- 131 1) 大学での勉強について、得意科目は何ですか？
- 132 2) その得意科目は主にどんな勉強方法を取りますか？
- 133 3) 大学での勉強について、不得意科目は何ですか？
- 134 4) その不得意科目は主にどんな勉強方法を取りますか？
- 135 5) クラブ活動、プロジェクト活動など、大学に関係する活動でどこかに所属していますか？ その活動
- 136 を通してどのようなことが得られると思いますか？
- 137 6) 在学中にチャレンジしようと思う資格は何ですか？ その資格を取得するためにどのような計画・行
- 138 動をしますか？ 資格に挑戦することでどのような人間力がつくと思いますか？
- 139 7) アルバイトやボランティア活動など、どのような活動をしようと思いますか？その動機は？ それを
- 140 通して、どのような人間力がつくと思いますか？
- 141 8) これからの学生生活に、どのような心構えで臨みますか？
- 142
- 143 ・まとめ
- 144 1) あなたの特徴を記入してください。
- 145 2) あなたが大切に思う価値は何ですか？（例：心理や新しい知識を追求する。社会に貢献する。）
- 146 3) 社会が求める技術者はどのようなものだと思いますか？
- 147 4) 3年後に自分が身につけている能力を予想して記入してください。
- 148 5) その他、キャリア・デザインに関し自由に記入してください。
- 149
- 150
- 151 ●ポートフォリオ事例
- 152 【「修学基礎Ⅱ」の「学生の行動目標」の達成度について】

153 私は修学基礎Ⅱでの学生の行動目標にあったグループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭  
154 や文章で説明できるという面において、ひとつ思ったことがあります。それは、確かに自己の見解を口頭  
155 で発表したりはできましたが、しかし、グループでの討議なのに、話し合いにあまりなっていなかったと  
156 という点です。私は、意見を積極的にだしました。他のメンバーも自己の見解を述べました。しかし、グル  
157 ープで他のメンバーの見解について疑問をもったり、発展させたりということが少なかったように思いま  
158 す。一度人の話を聞くという授業をしましたが、そのときもあまり、積極的な意見の交換がなされなかつ  
159 たように思います。もうすこし、見解を述べるという部分ではなく、人の見解を聞くという面で、行動目  
160 標を達成したかったです。

161

162 【2期の全科目の修学状況についての反省と改善方法】

163 今学期も引き続き、課題提出など遅れることなく実行できた。出席も春学期に引き続きよかったと思わ  
164 れる。設計については、課外活動を他のチームよりも多めにとり、努力したおかげで満足のいくものにな  
165 ったし、良い評価もいただいた。

166 反省点は、課題の作成がいつもぎりぎりになってしまい、徹夜を多くしてしまったことである。もうす  
167 こし事前からこつこつやる習慣をつけたい。

168

169 【2期の生活状況全般についての反省と改善方法】

170 夢考房の活動も今学期にはいって、電装系班チーフという役職をいただき、毎日自学自習の連続でよく  
171 取り組めたと思う。後半レポート等に忙しく課外活動にあまり集中できない時期もあったが、今後挽回し  
172 ていこうと思う。

173 家事等ルーチンワークはだいぶ生活に慣れたこともあり、時間をとられることは少なくなったが、料理  
174 をする日が減ってしまった。もうすこし、外食や弁当に頼らないようにしたい。

175

176

177 ●レポートについての学生の雑感（今年金沢工業大学を卒業したH君からのメールより）

178 レポートの内容は評価に大きくかかわります。SからDまでレポート毎にしっかり評価がついて返却され  
179 ました。希望者は再提出をできる科目もありました。その場合基本的に評価が上書き保存です。

180

181 ウェイトは、レポート $\geq$ 試験です。（!） $>$ ではなく $\geq$ です。

182

183 質問への回答ですが、採点はシビアです。しっかり内容を見られます。教授にそれほどの時間があるのか？  
184 と思われるほど丁寧に見られている気がします。実際には意地悪な先輩（院生）などが採点していると聞  
185 きます。コピーなどは即刻バレます。そしてその学期の単位がすべて不認定になるので不正を働くことは  
186 かなり少ないように思います。主観的や心理的に判断されて評価されている感はありません。シラバスに  
187 目標設定がしっかり記述されておりますので、その目標の達成具合によって判断されているように思いま  
188 す。目標以上のことを行ってもきちんと評価されます。

189

190 専門科目はそれなりに面白いものでした。ですが鬼のような大量のレポートがあり毎日徹夜しなくてはな

191 りません。レポートは即成績に結びつきます。この大学は普通通りレポート量が大目だと思います。1年次、  
192 栄養ドリンクのタウリン摂取量は6000mg/日。実験や設計の授業がある2年次は慣れもあり4000mg/日。  
193 最盛期の睡眠時間は3時間 or 0時間。

194

195

196 ●「自己点検」授業アンケート

197 設問A：受講前、この科目に興味はありましたか。

198 設問B：最初の授業で学習支援計画書の説明を受けて、この授業の概要や進め方、身につく能力を理解で  
199 きましたか。

200 設問C：授業を受ける際、熱意を持って受講し、理解するために努力しましたか。

201 設問D：一回の授業に対する予習・復習、課外学習活動はどの程度行いましたか。

202 設問E：教科書・指導書の内容は授業の理解のために適切でしたか。

203 設問F：課題またはレポート等は授業内容の理解を深めるのに役立ちましたか。

204 設問G：授業内容は学習支援計画書に沿っていましたか

205 設問H：授業の進度は内容を理解するのに適切でしたか

206 設問I：授業内容をよく理解するための、学習相談（オフィスアワー、チューターなど）は有効でしたか。

207 設問J：授業や学習相談を通して、教員の熱意を感じ取ることができましたか。

208 設問K：授業を終えて、あなたはこの科目に満足していますか。

209

210 ●アンケート実施・運営の方法

211 1) すべての科目で必ず実施（実施は科目の最終コマで行われる「自己点検」授業の中）

212 2) 回収率はほぼ100%

213 3) すべての記名で実施（ただし、教員は誰がどのような回答をしたかは絶対に分からない仕組みになって  
214 いる。クラスの代表が集めて教務課に直接届け、アンケートの内容が成績評価に結びつかないことが  
215 保障されている）。

216 4) 全体の分析結果のほかに科目ごとのアンケート結果も公開。自由解答欄に関しての教員からの回答も  
217 公開。

218 5) 教務課から、各学科および各教員に改善命令が出るようになっている。

219 6) アンケートの最終評価は専門のデータ分析業者に分析作業がアウトソーシングされている。

220 7) 「自己点検」授業はアンケートの記入と、振り返り作業（分からないところを教員に聞く）、試験返却、  
221 教員からのフィードバック、成績発表（個人で教員に聞きに行く）など、自由な1時間という感じ。

222 といっても、アンケートなどは前半20分ほどで、残りは教員の雑談や進路に関すること、最新研究  
223 がこうなっているとかがおおよそ授業に直接関係のない話題も多いが総括授業としては有益な時間。